

## 2015年度「さくらサイエンスプラン」による交流について

独立行政法人科学技術振興機構（JST）の日本・アジア青少年サイエンス交流事業「さくらサイエンスプラン」により、低平地沿岸海域研究センターの協力を得て、理工学部へ招へいされたASEAN諸国大学から引率者を含み16人が来学し、平成27年10月15日（木）に“さくらサイエンス交流プログラム”を開始しました。期間は土曜日を除く10月15日（木）～21日（木）までの6日間で、講義では佐賀の地域特性を考慮した低平地の地盤、水、都市計画問題の他、有田の焼き物関連でセラミックスに関する内容が用意されています。また、視察先は海洋エネルギー研究センター、有明海沿岸道路建設現場、嘉瀬川調整池、佐賀市下水処理施設、有明海干潟、肥前浜宿、九州陶磁文化館等、多岐に渡ります。講義と各種の施設見学を通じて交流が行われます。参加大学名と参加者数は下表のとおりです。なお、インドを除くこれらの大学とは既に大学間または部局間交流協定、低平地沿岸海域研究センターのサテライト協定を締結しており協働講義の実施等の交流を続けて来ていますが、今回プログラムの実施を機に、学生交流・研究交流が深まることが期待されます。

参加大学と参加者数

大学名	国名	学生数	引率者数	合計
ハヌマティン大学	インドネシア	2	1	3
ジャハラル ネール 技術大学	インド	2	1	3
カセサート大学	タイ	4	3	7
ベトナム水資源大学	ベトナム	2	1	3
合計		10	6	16



オリエンテーション時の集合写真